花診 健康友の会だより

花園診療所健康友の会
２０１７年１０月発行
通巻１９５号

千葉市花見川区花園２－８－２５　　TEL. ０４３－２７４－９５００

ICAN（国際核兵器廃絶運動）がノーベル平和賞を受賞しました

2017年原水禁世界大会 in 長崎　報告　8月7～9日

原水爆禁止２０１７世界大会 長崎の集いに参加しました

長崎市民会館には全国から６０００人、世界22か国95名、国際機関代表5名と多数の方が参加されました。若者から年配者まで、熱気と活気で会場は盛り上がっており、こんなにも多くの方々が核兵器禁止問題に真剣に向き合っているのに感動しました。

今年7月7日に国連本部で核兵器禁止条約が決まり、長崎市長は地元の抱えている問題を話され、核兵器のない世界の実現に向けて前進していかなければならない…。それには私たち一人一人ができることは何かを考えることが大事であると力強く話されました。被爆地だからこその話に胸に響くものがありました。

若者と子どもたち

2日目は被爆遺構めぐりに参加させていただきました。平和公園・浦上天主堂・如意堂・資料館等々。被爆体験者の方々から被爆時の悲惨な状況やその後の苦しみ、心身ともに傷つかれているお話に胸が詰まり、「私たちには時間がない」という言葉にもっと多くの人々に耳を傾けてもらいたいと思いました。

長崎医大では学生など８９８名が全員死亡、若い前途ある人が、と心が痛み爆弾の恐ろしさを改めて感じました。原爆で亡くなられた人々は何もわからずに一瞬に命を落とす、無念だと思います。また、放射線は長きにわたって人々を苦しめる恐ろしいものです。私たちはこのことを忘れることなく核廃絶に向けて取り組んでいかなければと思いました。

３日目は無事に閉会式を迎え、高校生や子供たちも参加してこの運動をつないでいこうという姿に感動しました。各国代表の方々の核廃絶に向けた力強いメッセージに我が国ももっと関心を持って取り組まなければと思います。

先ずはこの経験したことを身近な人から伝えていこうと思いました。

花園診療所　友の会　高原弘美

微力ではあるが無力ではない。核兵器禁止条約を力に
核兵器のない平和で公正な世界の実現を目指そう！

今年7月に国連で核兵器禁止条約が採択されました。原爆投下から72年の歳月を経て漸く核兵器禁止条約ができたことは、原爆被災者の方々の「再び被爆者を作るな」の願いと核兵器廃絶の実現に大きな意義があります。しかし唯一の被爆国である日本が条約交渉に参加しなかったことに憤りを感じました。

8日の分科会では原爆遺構めぐりに参加しました。ボランティアの方々の「人間らしく生きることも死ぬことも許されない悲惨な生活」等のお話に、二度と戦争をしてはいけない！と改めて犠牲者の冥福を祈りました。

遺構めぐりが終わってから、原爆資料館と山王神社に出かけてきました。原爆資料館は、身動きができないくらいの大勢の人たちであふれていました。市民ボランティアの方の熱心な説明に心が熱くなりました。原爆の核を作ったのも人間、使ったのも人間、使うのをやめることができるのも人間です。改めて戦争のない平和な世界を目指して、核兵器禁止条約が1日も早く国連で発効されることを望みます。

原爆ファットマン

山王神社では、樹齢4～500年の大クスノキが被爆し、蘇生が危ぶまれましたが、市民の懸命な努力により、新芽が吹きました。クスノキは復興のシンボルとして、長崎の人々を見守っています。

閉会式では原爆投下の午前11時2分に黙祷を捧げました。パーフェクトではないが、パワフルな禁止条約を確実に成功させる。参加する人から発信する人に！と、日本全国・世界各国からのたくさんのメッセージで、長崎・広島の被爆者の願いの小さな川が、平和な世界への願いの大きな川に広がっています。本当にたくさんの若い人の参加でエネルギーをいただき、とても熱い3日間でこれからの未来に希望が持てると感じました。

花園診療所　友の会　木村恵美子

被爆クスノキ

核兵器をなくす運動はヒバクシャと
市民のあきらめない力で前進しました

核兵器禁止条約は、核兵器を作ることも持つことも使うことも核によって他の国を脅すことも禁止するというものです。被爆者の皆さんが長年つらい思いをこらえて原爆の悲惨さを訴えてこられたことや支えてきた市民があきらめずに続けてきた運動が実を結び、世界を動かしたんだという喜びが開会式でいろいろな方から口々に述べられました。

太陽よりもまぶしく
ピカッと光った

そしてこの条約が50か国以上の批准で発効したら、世界で核兵器は違法な存在になるのです。これからは全世界の国にこの条約への参加と批准を働きかけていこうという熱気にあふれていました。

ビキニ水爆実験で被爆した方のお話も伺いました。1954年3月1日、アメリカは住民を避難させることなく水爆実験を行いました。何も知らない人々は降ってきた白い灰で遊び、汚染された水を飲み、下痢・だるさ・脱毛など見る見るうちに具合が悪くなりました。3日後に救出されましたが、治療をされることなくデータを取られただけでした。ヒロシマ・ナガサキと同じように実験

動物として扱われていたのでした。その後集団移住せざるを得なかった苦難の話をされました。初めて聞くことが多く無知を恥じるとともに、大変な怒りを覚えました。

故意・偶発に関わらず、核兵器が爆発すれば人類の生存を脅かすので、すべての核兵器は存在してはならないのだと、閉会式の講演でも繰り返されました。日本政府はこの条約を批准するつもりは全くないと断言しています。日本がこの条約に参加・批准し核兵器廃絶の先頭に立つよう迫っていく運動に私も取り組もうと思いながら帰ってきました。

花園診療所　鹿毛まさみ

爆風でなぎ倒された並木

さつきが丘班会におじゃましました

毎月第4水曜日の午前に団地の管理事務所の会議室で班会をやっていて、2012年6月から毎月欠かさず5年も続いているそうです。先日は7人参加でしたが、いつもは10人くらい集まるそうです。メンバーは50代～70代の元気な女性たち14～5人で、ちょっとお菓子をつまみながら、近況を話したり、悩み事を相談したり。かわいいお孫さんを連れてきた方もいてにぎやかでした。

「いつでも元気」の記事も面白くてためになると紹介したりして、楽しい2時間があっという間に過ぎました。ニコニコと仲間に入れてくださってありがとうございました。

花園診療所　鹿毛まさみ

さつきが丘班会

コラム　病気のこと～本田所長から

O157感染症について

皆さん、暑かった夏もやっと終わり、これから日に日に涼しくなり、快適な季節がやってきますね。

さて、今年の夏に、同じ惣菜店で販売されたポテトサラダやコールスローを買って食べた人が22人O157に感染し、そのうち3歳の女の子がなくなった事件は皆さん記憶に新しいと思います。

O157は腸管出血性大腸菌と呼ばれるグループの代表的な菌で、有名なベロ毒素を産生します。ベロ毒素は体のいろいろな細胞を破壊する働きがあり、血便が出たり、出血しやすくなったり、尿が出にくくなったり、痙攣を起こしたりと全身に影響を及ぼします。

O157の感染力は非常に強く、普通の食中毒では菌が100万個入らないと食中毒を引き起こさないのに、O157では100個程度で症状が出ると言われています。

O157は家畜の腸を住みかとし、その糞便から水や食物を介して感染します。また感染した人から人へと感染していきます。

O157の感染を予防するには、衛生管理が大切になります。肉や野菜はもちろん新鮮な物を使用します。肉汁や魚の汁が他の食品に付かないようにしましょう。包丁やまな板などは、肉や魚用の物と野菜用の物と分けると感染予防になります。生肉が触れたものは使用後にはよく消毒する事も必要です。

タワシやスポンジもこまめに消毒しましょう。野菜は流水でよく洗い、肉や野菜はよく加熱して調理する事も感染予防になります。また作ったものはできるだけ早く食べましょう。

O157だけでなく他の食中毒にも有効ですから、少しでも気にかけておくと良いでしょう。

相手は目に見えない小さな生物ですから大変ですが、誰でも注意しておく必要がありますね。これから食欲の秋ですが、食中毒に注意して美味しい物をたくさん食べてください。

職員着任のごあいさつ

花園診療所居宅支援事業所ケアマネージャー　田中路子

10月から花園診療所居宅支援事業所のケアマネジャーになりました。前職はヘルパーだったので、ケアマネの仕事は理解していたつもりでしたが、あらま、こんなに大変な仕事だったとは！利用者さんに寄り添い、困っていることはないか気にかける。家族のことや担当の介護職員の思いも理解する。関係者の連携を図る。事務仕事は必須。でも花園居宅のみなさんてきぱきと笑顔を交えて働いています。

スタート地点に立ったばかりですが、利用者さんや家族の気持ちに寄り添えるケアマネジャーになりたいと思います。よろしくお願いします。

千葉民医連
医療・介護系 奨学生募集

これからの地域医療・介護・福祉を担う学生さんを応援します！

将来、千葉民医連の病院・診療所・薬局・訪問看護ステーション・介護福祉施設等で働きたいと考える、医療系・介護系学生を支援する、奨学金制度です。

■医学　月額8万円(上限)　■薬学　月額5万円(上限)
■看護　月額5万円(上限)　■ﾘﾊﾋﾞﾘ　月額5万円(上限)
■介護　月額3万円(上限)　（その他、貸付もあります）
＊お申込み・ご相談、資料請求等は随時対応致します。

返済免除制度有

【申込み・問合わせ先】
千葉県民主医療機関連合会（千葉民医連）
〒260-0013 千葉市中央区中央 4-8-8-201
TEL 043－224－7497
chiba-ishibu@min-iren-c.or.jp

あなたと民医連をつなぐ月刊誌 MIN-IREN いつでも元気

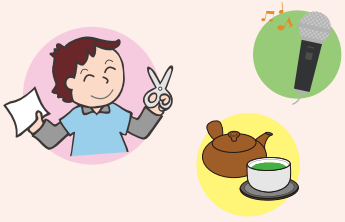
購読のお願い

「いつでも元気」
定価３８０円

お問い合わせ
花園診療所
TEL: 043-272-7200
FAX: 043-275-2600
http://www.min-iren.gr.jp/syuppan/genki/genki.html

今後のサークル開催予定

清拭布（柔らかい木綿の布）が不足しております。ご提供をお願いします。また、ボランティアも募集しています。作業終了後のホッとひと息も楽しいですよ。清拭布は、まくはりの郷等で使用していただいております。



毎月第１月曜日	健康体操
毎月第１木曜日	フラワーサロン
毎月第２火曜日	清拭布
毎月第３水曜日	カラオケ
毎月第２･４月曜日	絵手紙
新緑のころ	トレッキング

花園診療所 診療体制表

	月	火	水	木	金	土
午　前 受付時間 8:30～11:30	本　田	本　田	本　田 往　診	本　田 矢　野（第２・第４週）	本　田	本　田
午　後 火曜日 水曜日 （専門外来）	往　診	往　診 糖尿病（平山） 14:00～16:30 栄養指導	往　診	往　診 糖尿病（平山） 14:00～16:30 12月より	往　診	
夜　間 受付時間 18:00～20:00	予防注射 18:00～ 本　田			本　田 本田（晃） （第１・第３週）		

※第１・３水曜日の循環器外来（花井医師）は、終了いたしました。
※火曜日の糖尿病外来（平山医師）は 12 月より木曜日に変更になります。